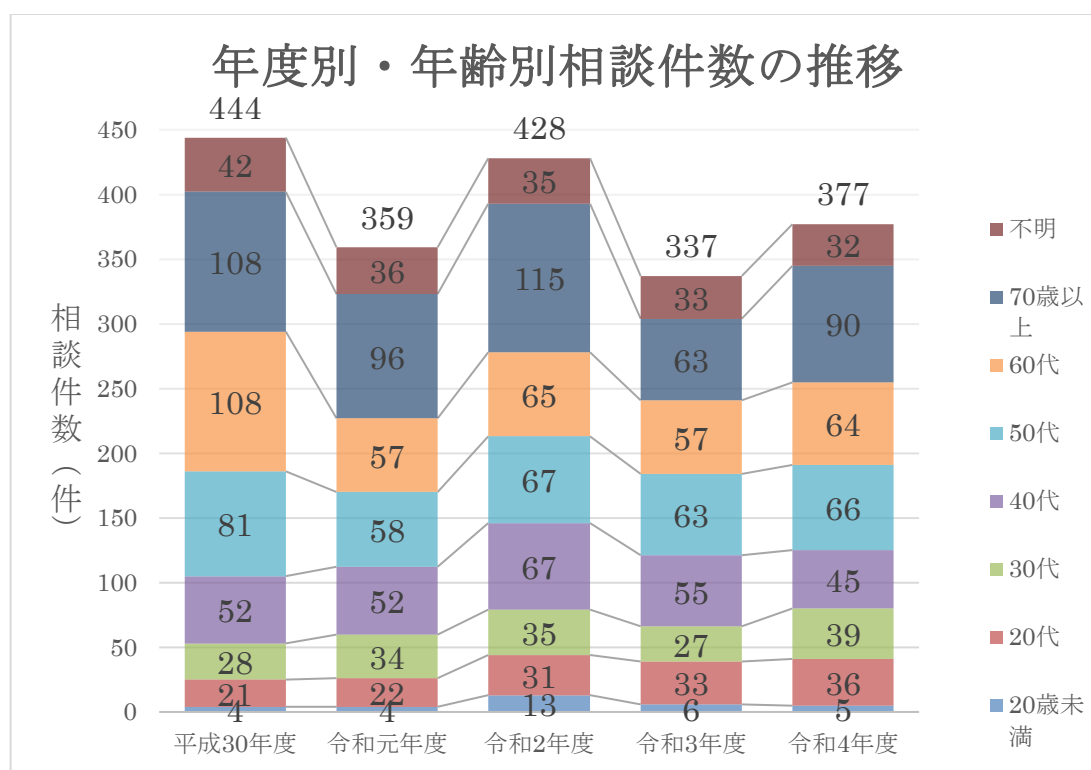


令和4年度下野市消費生活センターにおける相談状況

(1) 相談件数の推移

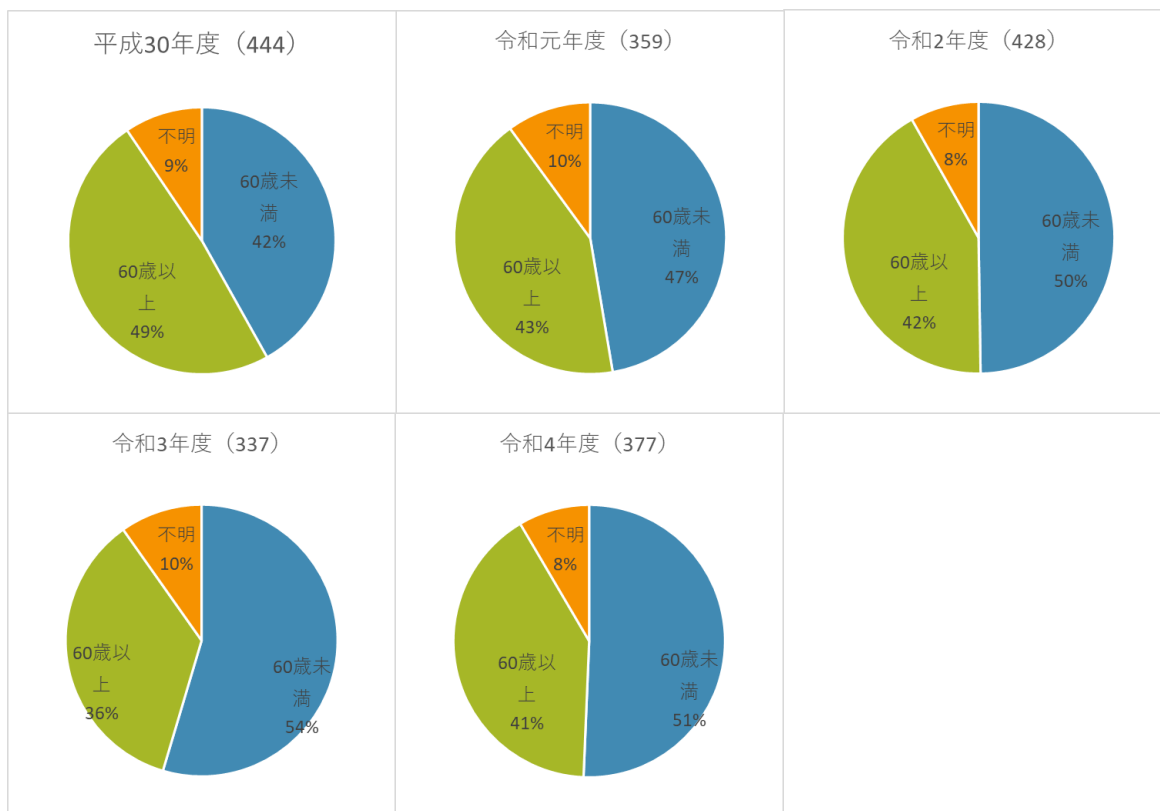
下野市消費生活センターでは、一定の資格を有する消費生活相談員を配置し、電話や来訪による市民からの相談に対応しています。

下野市における消費生活相談の件数は、平成21年度以降は280件前後で推移していましたが、平成29年度から30年度にかけて、主にはがき等による架空請求が多数発生したことにより、平成30年度は444件と大幅に増加しました。以降は令和元年度359件、令和2年度428件、令和3年度337件、令和4年度は377件と増減を繰り返し推移しています。



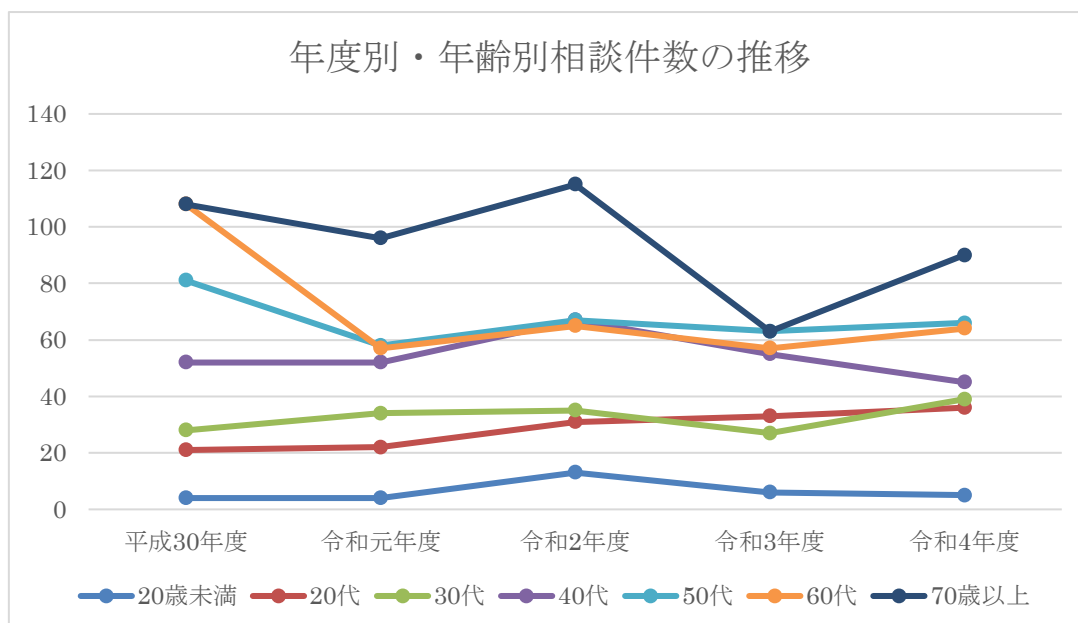
年代別（60歳未満・60歳以上）相談件数の割合の推移

この5年間の相談件数を年代別にみると、平成30年度は60歳以上の被害相談件数が半分近くを占めていましたが、令和2年度には60歳未満の被害相談件数が50%に達し、令和4年度まで50%台で推移しています。



年齢別相談係数の推移

各年代の被害件数は全体の被害件数に応じて増減を繰り返していますが、20代に関しては緩やかではありますが増加傾向にあります。



架空請求・ワンクリック請求の推移

架空請求に関する相談件数の相談全体に占める割合は、主にはがき等による架空請求の相談などから 29 年度・30 年度に急増していましたが、令和 4 年度では全体の 2% まで減少しました。

架空請求・ワンクリック詐欺の推移（件数）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
総件数	444	359	428	337	377
架空請求・ワンクリック詐欺	158	161	42	15	9

定期購入トラブルの推移

一方で定期購入トラブルが増加傾向にあり、インターネット通販によるトラブルのうち 40% に上っています。

定期購入トラブルの推移（件数）

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
総件数	444	359	428	337	377
ネット通販	66	62	100	84	88
うち定期購入	3	19	22	10	35

（２）商品・サービス別相談件数の推移※独立行政法人国民生活センターの分類による

平成 30 年度については、平成 29 年度から増加傾向にあったはがき等による架空請求に関する相談の急増に伴い、商品一般（具体的に特定できない商品に関する相談）が最も多い相談内容でした。

令和元年度以降も、商品一般や運輸・通信サービスに関する相談の割合が多い傾向にありますが、次第に相談内容の分類ごとの偏りが少なくなり、被害内容が多岐にわたるようになりました。

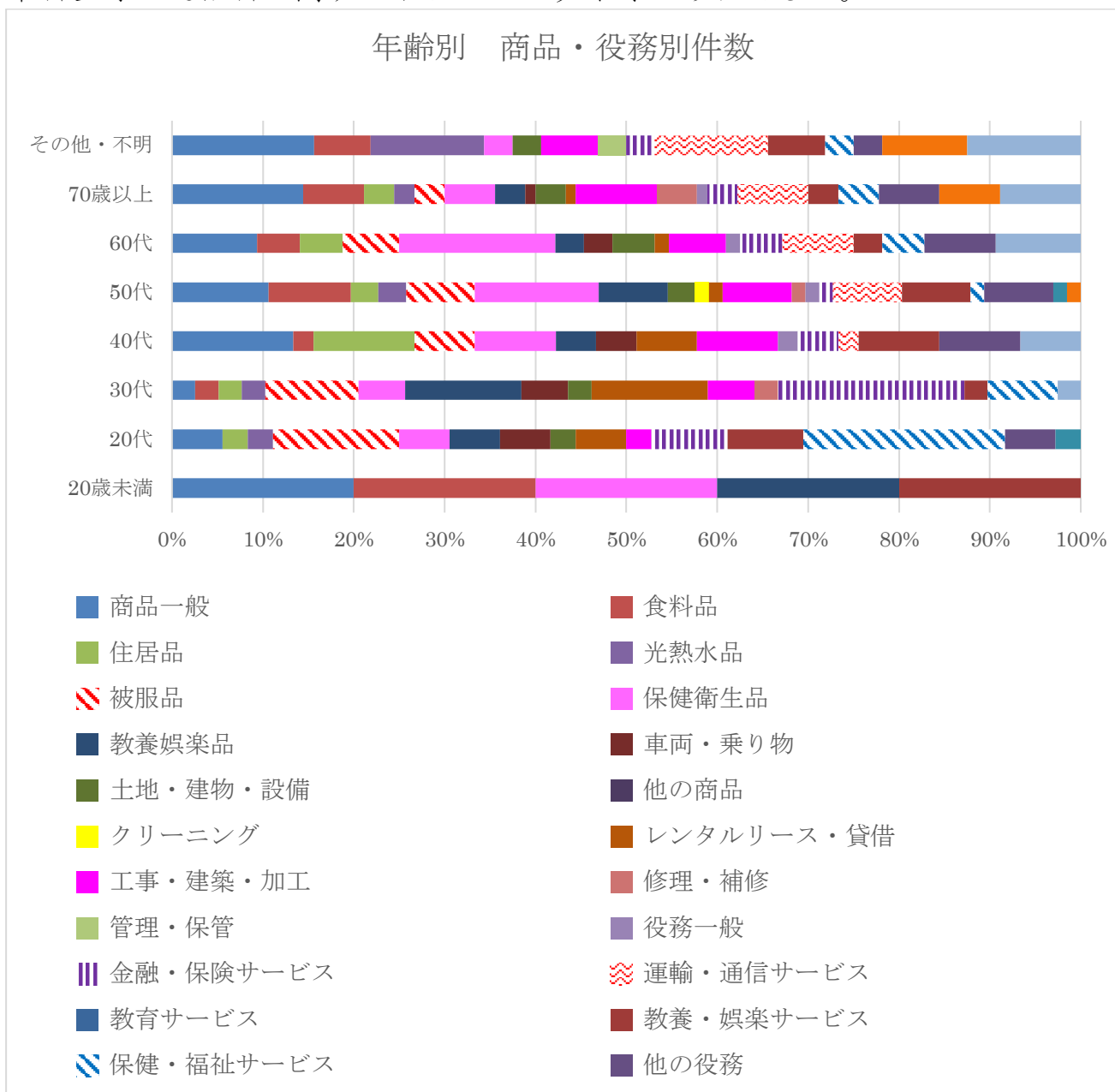
令和 4 年度は再び商品一般の件数が多くなりましたが、保健衛生品、工事・建築・加工、被服品などについても 20 件以上の相談がありました。また、商品一般に次いで保健衛生品に関する相談が多く、化粧品等の定期購入による被害が多数見受けられました。

【別紙参照】

(3) 令和4年度属性別相談件数

令和4年度の相談件数を年齢別に見ると、脱毛サロンの倒産等により20代・30代には保健・福祉サービス¹の相談が多くみられました。また、被服品²が他の年代より多くみられました。また、30代には儲け話等の金融・保険サービス³が他の年代より多数あります。

50代から70歳以上にかけては運輸・通信サービス⁴が多くなっており、携帯料金等の通信料に関するトラブルが多く寄せられました。



1 【保健・福祉サービス】

医療、理美容、衛生サービス 等

2 【被服品】

アクセサリ かばん 等

3 【金融・保険サービス】

融資サービス、ファンド型投資商品、預貯金・証券等、損害保険 等

4 【運輸・通信サービス】

移動通信サービス、インターネット通信サービス、電報・固定電話 等